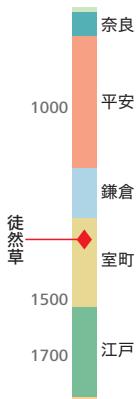


徒然草
つれづれぐさ

ある者、小野道風の書ける

兼好法師
けんかうぼうし



1 小野道風 八九四年～九六六年。名は「みちかぜ」とも。平安中期の書家。

藤原佐理・藤原行成とともに、「三蹟」

と称された。

2 和漢朗詠集 藤原公任撰。朗誦するのに適した漢詩・和歌の名句を選んで集めた詩文集。白居易の作を中心にして漢詩

句・和歌を收める。朗詠に用いられるほか、書道の手本となるなど、基本的な教養として享受され、日本文化史に与えた影響は大きい。

3 相伝 先祖からの言い伝え。

4 四条大納言 藤原公任（九六六～一〇四一）。平安中期の歌人。權大納言に任じられ、四条の南に邸があつた。漢詩・和歌・管弦の才に優れる。